

カーボンフットプリント算定の取り組み

生活者の脱炭素への意識・行動変容を促すことで、企業の脱炭素の取り組みを加速させ、脱炭素社会を構築することを目指す「チャレンジ・カーボニュートラル・コンソーシアム」(CCNC)参加企業は、カーボンフットプリント(CFP)を算定しました。企業の想いや算定商品の特徴について、算定対象商品と共にご紹介します。

CFP算定商品

ポッキーチョコレート ジャイアントカブリコ(いちご) プレミアム熟カレー中辛



1箱あたり0.47kg-CO2eでした。生産工場の一つである北本工場の使用電力は100%再生可能エネルギーです。



1個あたり0.38kg-CO2eでした。生産工場は、省エネ取り組みでR3年おおさか気候変動対策賞の特別賞を受賞しました。



1箱あたり6.82kg-CO2eで、家庭での調理に使用するエネルギーが多いことがわかりました。

企業からのコメント

工場からのCO2排出だけでなく、原材料調達や販売、廃棄などの過程における算定方法や削減に向けた課題を明らかにしたいと考え、大阪府の協力もいただきながら、試行段階としてCFP算定を行いました。CFP算定の結果、原材料調達時のCO2が多いことがわかりました。原材料調達や家庭での調理など自社の管理が及ばない工程においては、仮定を置いて算定するだけでなく、その仮定次第で、算定値が大きく変わるため、今後の精緻化が必要です。更なるCO2削減に向けて、原材料生産者との協働し、CO2排出量の把握や削減方法など具体的なアクションプランを策定していきたいと思えます。

CFP算定商品

カンロ飴 健康のど飴 たたかうマスカハニー カンデミーナグミスーパーベスト



パッケージには、再生可能な資材である生物由来のバイオマスインキを一部使用しています。



パッケージには、再生可能な資材である生物由来のバイオマスインキを一部使用しています。



パッケージにはバイオマスインキを使用。生産工場では使用電力のすべてをグリーンエネルギーでまかっています。

企業からのコメント

弊社は、「温室効果ガスの削減」を、CFPによって推進できると期待しています。商品と温室効果ガス排出量が紐づけば、研究や商品開発、生産に関する部門などの社員が、環境負荷を数値で捉えられるようになります。また、商品を手にとってくださるお客様にとっても、環境問題を考えるきっかけになるかもしれません。今回の対象3商品の算定は、算定ツールの充実によって想像していたよりも早期に完了しましたが、数値の精緻さを追求すれば際限はありません。本プロジェクトの3商品を皮切りに、算定商品の拡大ならびに数値の精緻化を進めてまいります。

CFP算定商品

ラカントS顆粒シリーズ



ウラボシの植物「羅漢果(ラカンカ)」と、トウモロコシ由来「エリスリトール」から作られた、100%植物由来でカロリーゼロの甘味料。減CO2を目指し、原材料調達から廃棄・リサイクルまでのCO2排出量を見える化しました。

企業からのコメント

弊社はヤシノミ洗剤の発売から50年以上に渡って、『地球と手肌やさしい』をコンセプトに環境問題への取り組みを行ってきました。また、RSPO認証やホルネオ環境保全の取り組みも開始して20年が経過しましたが、どうしても弊社だけでその意味を伝えるのは難しいと感じていました。そうした背景から、業界横断でCFP算定する取り組みに参加しました。CFP算定をきっかけに、長期的なCO2削減や環境問題に企業として貢献するためには何をすべきか、またお客様に我々の活動を知っていただく応援をいただくためにはどのようにすべきか、という課題解決を見つけることができればと考えます。

CFP算定商品

雪の宿サラダ



20枚入り袋あたり0.96kg-CO2eでした。算定を踏まえて、今後は、エネルギー使用量の工程ごとの把握や更なる省エネ計画の策定を行いたいと思えます。

企業からのコメント

弊社として商品づくりや輸送面などで脱炭素のための取り組みに挑戦しているなか、定量把握すべく、主力商品である「雪の宿」のCFP算定を行いました。算定過程では、工場単位のエネルギー利用量は把握できるものの、1ラインで複数商品を生産するラインでは精緻に商品別に利用量を把握する仕組みがなく、CO2排出量の正確な算定には新たな仕組みが必要と感じました。また、原料調達におけるCO2排出量は推定するしかなく、正確に把握することができない事も課題です。今後、CFP算定結果を開示する機会を積極的に設け、その価値の伝え方を様々な企業様と一緒に考えていきたいと思えます。

CFP算定商品

からだにユーグレナ グリーンスムージー 乳酸菌



紙容器へ切り替えや、間伐材やバイオマスプラなどサステナブルな資材の選定・採用をしています。また、製造過程で発生した販売不可の原料は、肥料や飼料への再利用の取り組みも実施しています。

企業からのコメント

『人と地球を健康にする』という目的のもと商品販売しています。お客様とのコミュニケーションの1つの起点になればと思い、CFPを算定しました。算定を通じて、製品のCO2をサプライチェーン全体で削減するためには、これまでの包装材の改善に加えて、原材料のシンプル化や国産化、さらにはお客様と共に削減することが重要という気づきを得ました。CFPの数値だけを開示するのではなく、まずはこうした算定の背景や気づきをお伝えできるようにしたいと考えています。また併せてCO2排出削減に取り組み、改善結果なども示しながら中長期的な取り組みにつなげていきたいと思えます。

上記の商品については、アスエネのCO2排出量見える化サービス「ASUENE」により、CFPを算定し、以下において「アスエネCFP算定ラベル」を用いて、生活者に訴求しています。

- スーパーマーケット万代 大阪府内113店舗対象キャンペーン(2024年11月1日~11月30日)
- スズ薬局アプリキャンペーン(2024年11月4日~12月1日)

ASUENE



アスエネCFP算定ラベル